

# 向山洋一著『図解版・どんな子だって「勉強できる子」になれる』1冊を紙1枚にまとめる

『図解版・どんな子だって「勉強できる子」になれる!』を1枚にまとめました。(水野)

## ■1 勉強ができる子に共通する基本的なこと : 3つしかない

- (1) あいさつができる
- (2) 返事ができる
- (3) あとしまつができる 例. 椅子、くつ

### 補足

- (1) テレビ・ゲームは1時間半以内...1時間で害は「1」、2時間だと「4」...
- (2) 食事中にテレビを見ない...親子の会話GT ①食事 ②お風呂 ③お手伝い
- (3) 豊かな体験...①読み聞かせ体験  
②お手伝い体験  
③様々な道具を使う体験  
④本物に触れる体験  
⑤熱中する体験(好奇心にもとづき飽きるまで)

## ■2 勉強ができる子に共通する学習の秘訣

### (1) 算数

- A 補助計算を使う ①くり上がり $36+18$  ②くり下がり $32-17$   
③3桁の引き算 $402-175$  ④かけ算 $274 \times 608$   
⑤わり算 (a) $16 \div 2$ (ヨコ式) (b) $19 \div 2$  (c) $38 \div 12$   
⑥位の違うわり算 $360 \div 23$  ⑦分数 $1$ と $2/5+4/5$   
⑧小数のかけ算わり算(a) $2.43 \times 5.6$  (b) $7.476 \div 6.23$   
⑨文章題(a)「何をしているの？」  
(b)「次にどうなったの？」  
(c)「聞いている所にライン」  
(d)「どうやったら出るか」(式・図)  
(e)3点セット

### B ノートの使い方 ①ページ数を書く(教科書に対応させてもれなく進める)

- ②問題番号を書く(すべての問題をやりきる)
- ③日付を書く(いつやったのかの記録)
- ④間隔をあける(隣と指二本・上と指一本)
- ⑤間違いを残す(大きく×、消しゴムはなるべく使わない)

### C 道具の使い方 ①鉛筆を使う ②ミニ定規を使う ③ゆったりしたノートを使う

### D 教科書チェック(できた問題・間違えた問題に印)

### E 遅れている子への指導法 ①わかるところまで戻る ②写す

### F 算数の面白さ: 難問(頭脳派と体力派)

### G うっかりミスを減らす指導 ①正解選び ②間違い探し

## (2) 国語

- A 音読 ①読み聞かせる(リズム、口調を頭の中に染み込ませる)  
②音読させる(必ずほめる)
- B 読書 ①好きな本を選ばせる  
②本の話聞いてあげる ③30分間
- C 書字: はっきり、大きく
- D 漢字 ①指書き ②なぞり書き ③写し書き ④空書き
- E 作文 ①枝葉末節を注意しない  
②発展法則に従う  
(a)毎日 (b)少しでも長く  
(c)ひとつのテーマで (d)事実と自分の考えを分けて書く

## F 暗唱

## (3) 理科

### A 四つ環境づくり

- ①飽きるまで熱中させる
- ②本物に触れさせる
- ③モノ・道具を用意する
- ④図鑑や事典を用意する

### B ノートの使い方

- 左: データ(題・課題・目的・方法)  
右: わかったこと、考えたこと、結論

## (4) 社会

### A 生活体験

- ①面白い課題(会話が生じる課題やお手伝い行動)
- ②ニュース、歴史漫画、旅行など

### B 資料の読み取り方・調べ方

- ①表題・年度・出典
- ②数値の読み方
- ③地図帳

### C ノートの使い方

- 左: ひとつのテーマによるまとめ  
右: 自分で調べたこと

## ■3 伸びる子に育てる三つの極意

- (1) 励まし、ほめること ①タイミングよく ②プラス思考で(明るく)
- (2) 持続力をつけること: 100日続けてみる(90日以上合格、60日以上要注意) 例. 机に向かう、約束を守るなど
- (3) 親の思惑を押し付けないこと